

文化芸術推進会議（第3回）議事要旨

日 時：令和4年4月25日（月）15:00-15:30

場 所：文部科学省（東館）3階 3F1 特別会議室

出席者：都倉 文化庁長官

表 内閣官房内閣審議官

澤川 内閣府知的財産戦略推進事務局次長

村田 総務省情報流通行政局情報通信作品振興課
放送コンテンツ海外流通推進室長

曾根 外務省大臣官房国際文化交流審議官

阪田 財務省関税局長

柿田 文部科学省大臣官房総括審議官

杉浦 文化庁次長

塩見 文化庁次長

田原 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

安楽岡 農林水産省大臣官房審議官（兼輸出・国際局・新事業・食品産業）

畠山 経済産業省商務サービス審議官

藤田 経済産業省商務情報政策局審議官（IT戦略担当）

木村 国土交通省大臣官房審議官（総合政策）

大野 観光庁観光地域振興部長

関谷 環境省自然環境局総務課長

議 題：(1)「文化芸術推進会議の設置について（平成29年11月10日関係府省庁申合せ）」の一部改正について

(2) 文化芸術推進基本計画（第2期）の策定に向けた検討について

概 要：

- 冒頭、都倉文化庁長官より挨拶があった。
- 議題1について、資料1の改正案が諮られ、同日付の関係府省庁申合せとすることについて了承された。
- 議題2について、文化庁より、資料2-1、2-2、2-3、参考資料1に基づき、文化芸術推進基本計画（第2期）の策定についての説明が行われた。併せて、文化庁より、基本計画の検討に向けて軸になる事項をまとめた政策パッケージを公表する予定であること、オリンピック・パラリンピックに向けて行ってきた「日本博」を、2025年大阪・関西万博をターゲットに新たに展開していくことを考えていることについて、説明があった。その後、討議が行われ、その概要は以下の通り。

- ・内閣官房（表内閣審議官）より、文化芸術推進基本計画（第2期）等の策定・実行について、内閣官房として文化庁と協力して深く関与していく考えであり、関係省庁の協力をいただきたい旨の発言があった。
 - ・経済産業省（畠山商務・サービス審議官）より、文化庁及び各省庁と連携して、固有の文化を新たな価値創造の主軸に据えることが今後の我が国の競争力強化の観点から重要であり、海外展開支援の一層の強化や文化芸術との結びつきの強化等、全国津々浦々での新たな文化創造が創発される環境整備に取り組むことで、我が国の未来の競争力向上にも取り組んでいきたい旨の発言があった。また、文化庁の提案通り、オリンピック・パラリンピックの機運醸成の中核を担った日本博が、引き続き万博に向けた機運醸成を図っていただけることは大変喜ばしく、歓迎したい旨の発言もあった。
 - ・経済産業省（藤田商務情報政策局審議官）より、コンテンツ産業の振興のため、経済産業省として海外展開の推進等の支援やコロナ禍での救済策を実施してきており、文化芸術・ライブエンタテインメントが社会にとって必要であることを改めて政府から発信していく必要がある旨の発言があった。
 - ・都倉文化庁長官より、我が国のエンタテインメントに係るプロモーターの人材育成やライブエンタテインメントのコンテンツ充実などが今後必要である旨の発言があった。
- 今後は、文化芸術振興基本計画（第2期）の策定に向けて各省庁に協力をいただきたい旨文化庁から発言があり、議事は終了した。

以上